

暑さに負けず学んだよ!!

教育委員会では、子どもたちの生涯学習の場として夏休みに2つの事業を行いました。

イングリッシュキャンプin茂辺地

夏休み初日の7月27日(木)、今年も英語力の向上に特化した教育活動を行っている茂辺地小中学校を拠点に「イングリッシュキャンプin茂辺地」を開催しました。

昨年は午前みのみのプログラムで開催しましたが、今年は午後3時までとし、小学生41名、中学生12名の参加者と、ALT4名、遺愛女子高等学校英語科の生徒11名を中心としたスタッフで楽しく英語に触れながら学びました。

アイスブレイクで緊張をほぐした後は、グループで街探検へ出かけ、オールイングリッシュで遊ぶゲーム「BINGO SMASH(ビンゴスマッシュ)」を行い、キャラクターに扮したスタッフに子どもたちは英語で積極的に質問しました。昨年より少しルールを難しくしましたが、グループで協力して次々にビンゴを完成させていました。

気温30度を超える炎天下で行われ、少し疲れが見える子どもたちでしたが、昼食は茂辺地住民センター集會室に集まり、



アイスブレイクで緊張をほぐそう



たくさんビンゴできたよ

冷房の効いた涼しい部屋でスタッフが作ったカレーライスを食べました。

おなかを満たされた後は、そのまま集會室で振り返りを行い、子どもたちはステージに上がり、英語で2分間の感想発表を行いました。中には、身体を使ってパフォーマンスを行うグループもあり、会場はとても盛り上がりました。



カレーおいしいね



みんなで考えたパフォーマンス

来年は、更に活動時間を増やし、英語に触れる時間、仲間と過ごす時間を大いに楽しんでもらえたらと思います。

きつずアドベンチャー2023

夏休みも終わりに近い8月17日(19日)にかけて「きつずアドベンチャー2023」を開催し、小学生11名、中学生5名が参加しました。

この事業は、北斗ロータリークラブ、陸上自衛隊函館駐屯地、隊友会北斗市支部、南渡島消防事務組合北斗消防署、北斗スポーツクラブなどの協力を得ながら行われ、小学4～6年生を対象とし、また、中学1～3年生はジュニアリーダーとし、自然活動を通して子どもたちの健全育成を図ることを目的としています。

8月17日(木)は事前研修として北斗市総合文化センターかなでるで、南渡島消防事務組合北斗消防署による一般救急講習を受講し、心肺蘇生法やAEDの使用手法など、大切な命を救うための応急手当の方法を学びました。



心臓マッサージを学びました

18日(金)からは、待ちに待ったきじひき高原でのキャンプによる体験活動を行いました。気温30度を超える炎天下のもと、自分たちが寝泊りをするテントを設営しました。それからはサッカーをし

たり、虫捕りをしたり、子どもたちは伸び伸びとした時間を過ごしていました。

昼食後は、モルックを体験し、大人も子どもも夢中になって真剣勝負を行いました。夕食では、4グループに分かれてスープ作り対決を行い、厳正なる審査の結果、ポトフを作ったオレンジチームが優勝しました。子どもたちが作った4種類のスープ、飯ごうで炊いたホカホカのお米、バーベキューや焼きそばでおなかいっぱいになりました。真っ赤な夕焼け、美しい夜景も見ることができました。

2日目の朝は駒ヶ岳側に雲海も見られ素敵なお朝を迎えましたが、陸上自衛隊函館駐屯地第28普通科連隊による防災体験プログラムの時には、辺り一面が白い霧に包まれ、次第に雨模様となりました。昼食は、自衛隊特製のカレーライスをたくさん食べ、今回の振り返りを行い、幕を閉じました。



霧の中でロープ訓練



テント設営うまくできた♪

4年ぶりの宿泊を伴う事業は、広大な大自然で実施され、子どもたちは一段とたくましく成長したと思います。

(社会教育課 木島 悠)